

カスタマイズ支援事業
合同説明会

東京のバス事業の現状と取組み

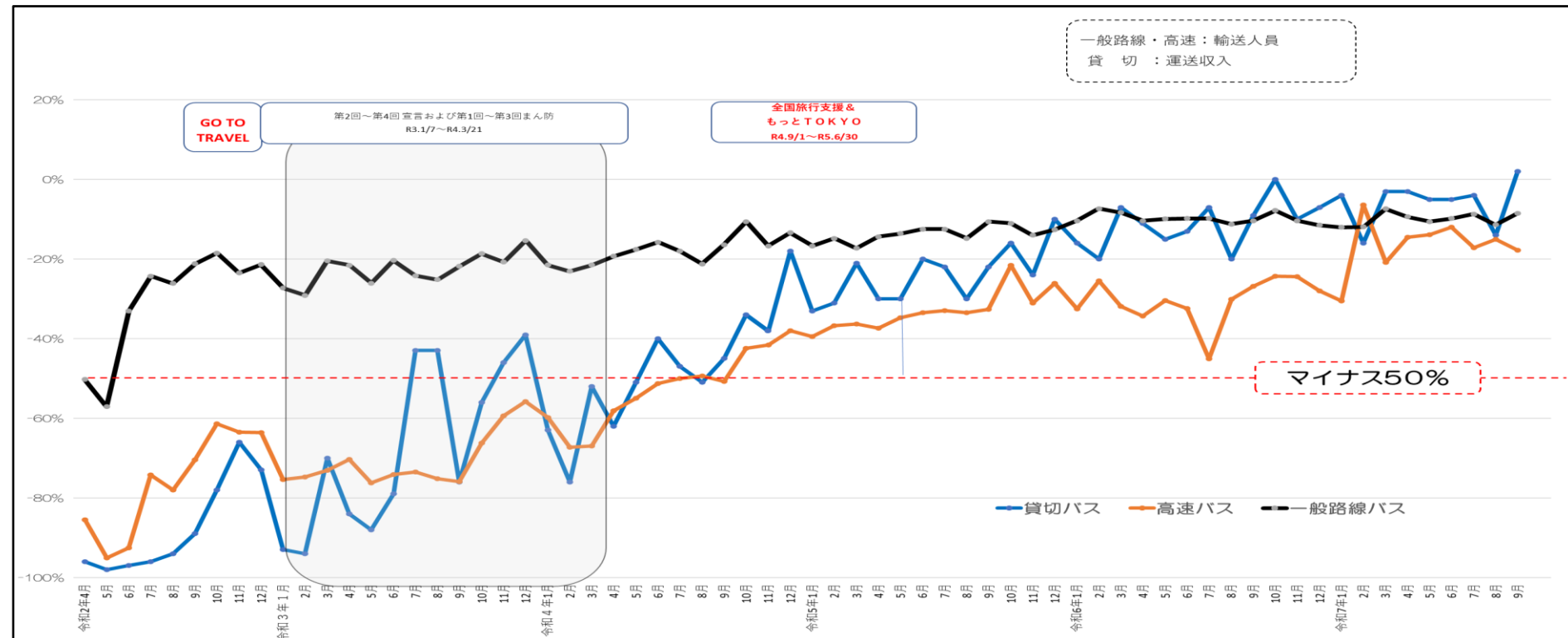
一般社団法人 東京バス協会

令和8年1月16日(金)～18日(日)

1.東京のバス輸送の推移(2019年対比)

2020年2月のコロナ感染拡大から直近までの路線バス、貸切バス等の輸送状況は次のグラフのとおりです。人流が活発になってきておりますが、コロナ感染以前の輸送状況まで回復していません。

- * 路線バス⇒在宅勤務、出勤方法の変更など生活スタイル変化で9割程度の回復
 - * 高速・空港連絡バス⇒国内旅行の活発化やインバウンドの増加により回復途上
 - * 貸切バス⇒運賃料金の見直しを実施しているが収入はコロナ前の8～9割程度で推移
- ※1. 運転者不足により、バス利用の需要は増加しているが、供給が追いついていない
※2. 運転者の確保に向け、業界をあげてバスの魅力発信に努めている



2.東京のバス事業現況及び仕事の種類

データでまるわかり！都内を走るバスの現在

【2025.9.30現在】

1 東京を走るバスの台数は？

1万565台

現在の
乗合バス
6,597台



予備車含む

現在の
貸切バス
3,967台



2 東京のバス会社はどれくらいある？

416 社

*乗合で貸切兼業の場合重複カウント

乗合バス
事業者
61社



貸切バス
事業者
355社



東京のバスをより便利に、安全に 東京バス協会の活動について



一般社団法人 東京バス協会では、都内のバス事業者の貸安全運行に関する取り組み環境保全活動など、お客様の安全で快適なバス利用を提供し、バス業界全体の発展の活動を進めています。

バス運転手の仕事

バス運転手の仕事を知ってみよう！

ひと口に「バスの運転手」といっても、仕事内容としてさまざま。身近なところで乗れる路線バスから旅行客を乗せる観光バスまで、バスの目的に応じて、運転手の仕事内容や1日の過ごし方も変わってきます。

仕事の種類 あなたなら、どの運転手を選ぶ？

01 路線バス運転手 地域の足となる 乗合の路線バスの運転手



街中の比較的短い区間の輸送を行うのが路線バスです。地域の大事な足として地域密着のサービスとしての側面もあります。

02 高速バス運転手 高速道路を運行して遠方 輸送を行う高速路線バス



路線バスが地域の足となるのに対して、高速バスは都市と都市の長距離を走るバスです。遠方輸送では2名での交代乗務を行います。

03 観光バス・貸切バス 観光バス、団体バスなど、 貸切輸送を行う貸切バス



団体旅行やバスツアーで利用される観光バス、学校や企業単位で利用される貸切バス、いずれも楽しく安全な運行を乗客に提供します。

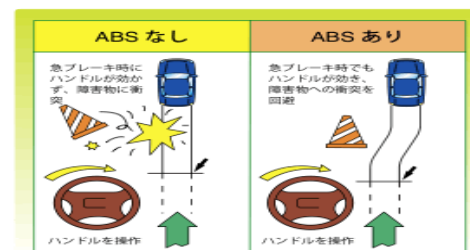
3.バス車両の先進安全装置

先進の安全装備でドライバーも安心

最新のバス車両にはABSや横滑り防止装置などの装備が義務化されているほか、バス運転手も乗客も安心のさまざまな予防安全装置が装備されています！
今時のバス車両の代表的な安全装備をご紹介します。

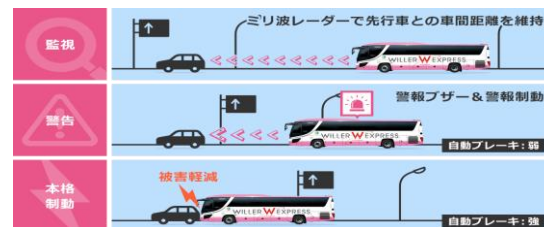
ABS（アンチロック・ブレーキング・システム）

滑りやすい道路などで急ブレーキを踏んだ際、車輪のロックを防ぎ、ブレーキの制動力を維持しまま、車体姿勢とハンドル操作を保つ装置です。
とっさの時も安全な回避が可能です。



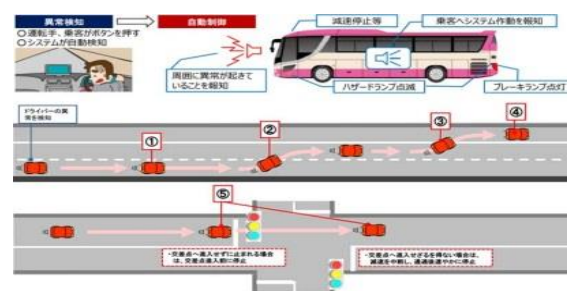
衝突被害軽減ブレーキ

前走者に気付かず接近して衝突の恐れがあると音でブレーキを促したり、自動でブレーキが作動する安全装備。衝突速度を20km/hまで下げることで運転手の安全を守ります。



ドライバー異常時対応システム

EDSSとも呼ばれ、バス運転手が突然の病気などにより安全に運転できない状態になった際、乗員や乗客が非常停止ボタンで車両を自動的に停止させることができます。



4.運転者不足への取組み(自社乗務員養成)

(サポート体制)



○大型二種免許取得を支援する運転手養成制度

大型自動車第二種運転免許を持たない人でも、バス運転手になれるよう、バス会社が取得をサポートする制度を実施中。各社の一定の条件を満たせば費用はバス会社が負担

○運転技術や安全の指導など社内研修

バス運転手の心得、接客方法などの社内研修のほか、ベテランの指導員が運転技術を伝授する現場研修などの手厚いサポート



○運輸規則に基づく教育について

バス運転者として新たに雇い入れた方への指導内容

- ①事業用自動車を運転する場合の心構え
- ②事業用自動車の運行安全及び旅客の安全を確保するために遵守すべき基本的事項
- ③事業用自動車の構造上の特性
- ④乗車中の旅客の安全を確保するために留意すべき事項
- ⑤旅客が乗降するときの安全を確保するために留意すべき事項
- ⑥主として運行する路線若しくは経路又は営業区域における道路及び交通の状況
- ⑦危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法
- ⑧運転者の運転適性に応じた安全運行
- ⑨交通事故に関わる運転者の生理的及び心理的要因並びにこれらへの対処方法
- ⑩健康管理の重要性
- ⑪安全性の向上を図るための装置を備える事業用自動車の適切な運転方法



各社、法に基づく基本教育の他に独自の安全教育を実施し安心して乗務できる体制を構築

5. バスの安全管理体制

乗務員の健康状態や居眠り等の重大な交通事故を防ぐために、バス会社では適切な乗務員の健康管理、安全管理に努めている

改善基準告示&交替配置基準

(法令による安全管理体制)

バス会社は、バス運転手の健康を守り、安全運行を厳格に推進するため、法令による安全管理体制の整備が義務付け

厚生労働省が**バス運転手の労働時間等の基準を定め**、さらにこれをもとに国土交通省が交替運転者の配置基準を定める

- 拘束時間: **1日拘束時間=13時間**(上限15H、14H超は週3回まで)
52週: 3, 300時間
- 休息期間: **継続11時間以上を基本に、9時間を下回らない**
- 運転時間: 2日平均で1日・9時間以内
4週平均で1週・40時間
- 連続運転時間: **4時間以内**
(運転中断1回連続10分以上、合計30分以上)

【交替運転者の配置基準】

(午前2時～4時にかかる場合)

○距離: 実車距離400kmまで

*ただし特別な安全措置を講ずる場合は500kmまで

○時間: 運転時間9時間以内

○連続乗務: 連続4夜まで

*ただし400km超は連続2夜まで

○連続運転時間: 計画上2時間まで

(バス運転手の健康サポート)

バス会社は運転者の健康管理をしっかり実施
定期健康診断のほか、アドバイザーによる健康指導を行う会社も増加

*脳ドック、睡眠時無呼吸症候群 検診の実施)

くも膜下出血などで突然意識を失う事故を防止するため、バス運転者に「脳ドック」やMRIによる脳梗塞診断や睡眠時無呼吸症候群による意識障害防止のために特別な検診を実施



6.最後に

地域の移動手段として、また、観光や企業・学校送迎として、皆さんの身近で活躍している乗り物がバスです。

少子高齢化に伴いバスの需要は高まってきております。その需要に応えるためにも、バス運転者の確保が喫緊の課題です。

是非、地域の移動手段として、なくてはならないバス輸送の担い手として、バス運転者を選択いただきますようお願いいたします。

また、都内大規模イベントや災害発災時に多くのバス協会員のバス車両が運行し、公共性の高い役割を担っています。

バス業界として、是非、皆様と一緒に仕事ができる日を心待ちにしております。

東京のバス運転者採用につきましては、東京バス協会HPの東京バス案内WEB「バス乗務員募集中」をご覧ください。

次のQRコードからもアクセス可能です。



*東京バス案内WEB トップページ
<https://www.tokyobus.or.jp/>